「誰かがやってくれる」と一番に考えがちなのが，移動課題です。

知らない誰かが守ってくれていたことを「自分ごと」になったときに初めて意識する。
でも，取り返そうとしても，気づいている一部の人だけが今と未来を守るために活動を続けるだけでは，問題が起きてから，もう一度，以前のような安全を取り戻すことは難しい。

クマ問題に似ている!?

クマが町に出ないよう，人知れず活動を続けてきたマタギ
▶ 安全が当たり前になりクマへの危機意識が希薄に。マタギが減少。
▶ マタギの減少で，クマの行動が広域化，さらに数も増加し，町中に出現。
▶ イマココ マタギいない どうしよう‥。（膨大な予算と手間）

交通課題も，誰かがやってくれるでは同じ道に…

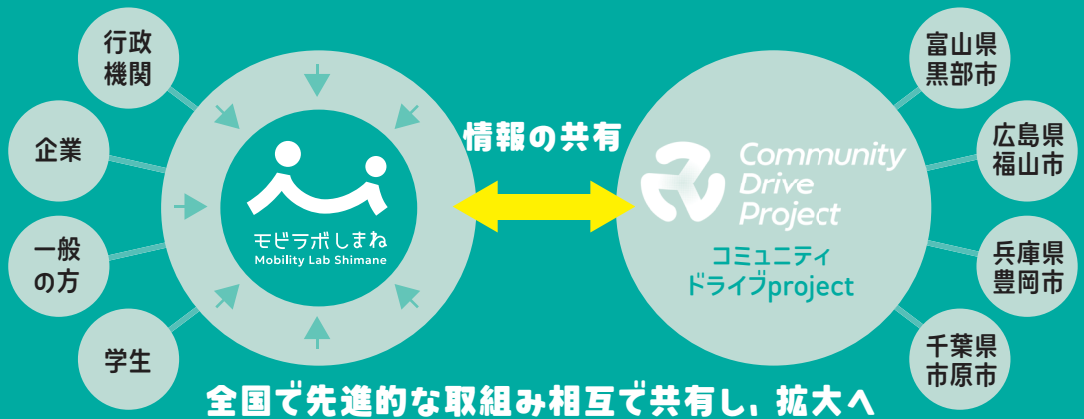
気づかなくても，誰かがやってくれる。
知らないうちに，お金も人も，そして最後は活気も生活も徐々に失っていく。
気づいたときには，誰も手が出せず，誰も復活できない「どうにもならない」場所になっていく。

もしこれが，地域と地域を結ぶ，中間地点だったら‥‥。
そんなことが続いていけば，いつか，地域は分断され，地域そのものの
コミュニティや機能が失われてしまいます。

そうならないためにも，今からできることを，地域（コミュニティ）として考え，動かしていくのが「コミュニティ·ドライブ」（地域が動く活動）です。

「モビラボしまね」とは

モビラボしまねは，コミュニティドライブプロジェクトと連携して，島根県松江市を中心に，有限会社いやタクシーが主体となり，人の営みに欠かせない交通（移動手段）を未来に向けて守っていくために，みんなで課題を「考え，動き，守っていく」活動をしていく組織です。



全国で先進的な取組み相互で共有し，拡大へ

地域の交通手段とは，単に人の移動だけではありません。モノ，暮らし，すべてに直結しています。

今後，人口·経済がともに縮小していく中で，行政機関，交通事業者だけでは解決できません。
つまり，「今のまま」を継続していくことは，実際には難しいのです。
縮小と共にただ「あきらめる」のではなく，いろいろな視点で生まれたアイデアを繋ぎ合わせ，これまでになかった「取り組み」を見つけ，早めに動かしていくことが大切です。そのためには，関連·活躍が期待できる企業や人などの輪を広げ，コミュニティを形成していくことが重要です。そこで，コミュニティを形成，発展していくため，お互いのスキマを埋め，つなげる活動をしていくのがモビラボしまねの役割です。
初年度は，ワークショップを通じて，「気づいて，活動できる人」の輪（規模）を広げていきます。そして，来年度以降，ここで得た活動の種（アイデア）を実験·実践していきます。

活きた「まち」と「くらし」を守るために重要な鍵となる「移動課題」について，考え，行動する地域活動を一緒にはじめませんか?

参加者募集!

地域の移動の未来のために、たくさんの声を聞かせて下さい!

参加したあなたの声が、地域の、全国の「みんなの移動」につながります!

モビラボしまね
Mobility Lab Shimane

×

Community Drive Project

「地域の移動」についての最先端のワークショップ

「移動課題」について、地域で考え、活動につなげる先駆的な取り組みを実施している、「Community Driveプロジェクト」の小柴氏を招いて、日本各地で実施している最先端のワークショップを松江で開催!!

参加費無料

小柴 徳明 氏 [一般社団法人SMARTふくしラボ プロジェクトマネージャー]

元黒部市社会福祉協議会。福祉DXやウェルビーイング推進のため「SMARTふくしラボ」を設立。移動課題に応える介護予防プログラム「Goトレ」(グッドデザイン賞ベスト100)や法人を立ち上げ、地域の移動づくりに取り組む。

Community Driveは、地域移動課題を人と合意形成から解決する共創プロジェクトです。コミュニティ・ドライバーの発掘育成、産官民の対話、調査・実証を統合したプログラムで持続可能な移動の土壌を構築。黒部市や福山市で展開し、国土交通省モビリティ人材育成事業に3年連続採択され、全国で活動が拡大中!

Community Drive Project

ワークショップ概要

10年後、あなたはどうやって移動していますか。
バスが減り、送り迎えが増え、免許を返したあとの暮らしが見えない。
その「答え」は、まだ誰も持っていません。だから、集まって考えます。
9月28日(月)、松江の移動をつくる仲間が集まります。
富山県黒部市の実践に学びながら、松江でこれから一年、何に取り組んでいくのか。みんなで話し合いをしていきます。

18:15	開場・受付
18:30	オープニング・あいさつ
18:35頃	小柴氏「地域が動くと、何が起きるか」
18:50頃	ワークショップ 「松江の移動について考える」 -自己紹介・グループワーク・発表-
20:15頃	これからの1年の活動説明
20:25	クロージング
20:35	終了

日時 2026.9.28(月) [時間]18:30-20:35

場所 松江テルサ 大会議室

定員 定員80名(先着順)
申込締切 9月25日(金)

※当日、地域の移動をデータから考える「モビリティプランナー」養成プログラムのご案内も致します。

申込みはこちら

モビラボしまね
Mobility Lab Shimane

主催:モビラボしまね(有限会社いやタクシー内) 協力:一般社団法人コミュニティドライブ
後援:松江市 お問合わせ:モビラボしまね事務局(株式会社Mond) Email itagaki@mond-jp.com

本事業は、令和8年度 国土交通省「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(モビリティ人材・組織育成タイプ)の採択を受けて実施しています。

ホームページはこちら